

うめつなむし

海花虫 ~サンゴの森に咲く ポリプの花~

完成試写会&顕微鏡観察会のお知らせ

さまざまな生きものを育み、海のゆりかごともいわれているサンゴ礁。サンゴが成体へと変身していく様子など、知られざる生態をとらえた貴重な科学映像と、実際の顕微鏡観察をとおして、夏休みの終わりに海の生きものや環境について、話し合ってみませんか！



花のように開いたサンゴの触手

サンゴ礁の映像はたくさんあるが
生きものとしてのサンゴに
ここまで迫ったのは世界初！
お茶の水女子大学 服田昌之 准教授
はったまさゆき

日時 2010年8月29日(日) 13:00~17:00

場所 完成試写会：埼玉県川口市 SKIP シティ 映像ホール (無料)

開場 12:30 上映 13:00~14:00

・先着300名。事前の申込みは必要ありません。

顕微鏡観察会：4F研修室(上映会の後) (無料) 14:00~17:00

・サンゴのポリプを実際に顕微鏡で観察できます。

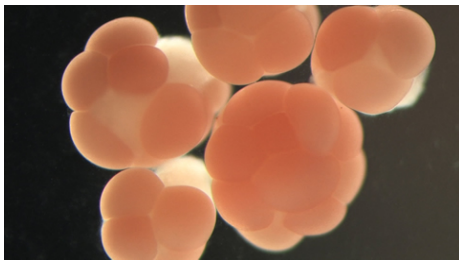
※先着40組。事前申込み(20組)、もしくは当日整理券(20組)が必要です。

「サンゴ」ってなあに？

温かい海の浅瀬には、きれいなサンゴ礁が広がっているというイメージは、多くの人が想像できると思います。テレビや新聞などで、「サンゴ」が絶滅の危機に瀕していることを知っている人も多いでしょう。でも「サンゴ」っていったいなあに？と聞かれたら、あなたは答えられますか？

イベント内容

★上映試写会 無料 ●「うみはなむし海花虫」(内容40分程度)



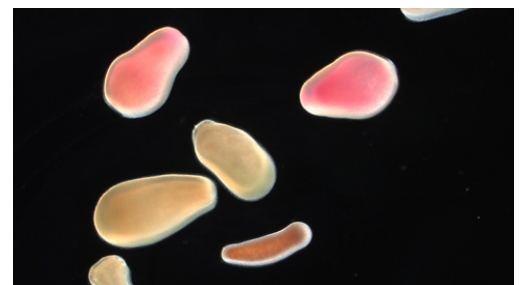
サンゴの卵と精子(バンドル)

サンゴが成体になっていく様子(変態)をつぶさにとらえ、サンゴの生態を記録した科学映像として高い評価を受けている作品です。

授業などの教育素材としても十分にご活用いただけます。
※映像の対象は小学校高学年以上程度です。

★顕微鏡観察会 無料 ※事前申込みが必要です

- サンゴの顕微鏡観察(今年生まれの小さなサンゴの子供「初期ポリプ」を顕微鏡で観察できます)
- サンゴの蛍光顕微鏡観察(蛍光物質が赤や緑に怪しく光る!)
- 様々なサンゴの骨格標本の展示、イソギンチャクの水槽展示
・そのほか、お茶の水女子大学の先生や学生さんによるオリジナルレポート・スケッチの指導など盛りだくさん!



サンゴのプラヌラ幼生

緑や茶色っぽく見えるサンゴはよく石や植物とまちがわれますが、実は、イソギンチャクと同じ仲間の動物なのです!イソギンチャクが小さな魚を捕まえて食べるように、小さな触手でプランクトンをつかまえて、食べることができます。また、他の動物と同じように卵を産んで、子孫を増やします。

映像でサンゴについて知ってもらい、実際にサンゴやイソギンチャクを目や、顕微鏡で観察して、その面白さや不思議さを体感してもらうことで、「サンゴ」について知り、生物が暮らしていくための「環境」や「海」について意識を、少しだけ、高めていただくのがイベントの狙いです。

堅苦しい勉強会ではなく、親子で楽しめる「遊び」です。ふるってご参加下さい!

顕微鏡観察会をご希望の方・お問い合わせはこちらへ sango@documentary-ch.com

- ① 参加者全員の氏名(フルネーム・子どもの場合は校種と学年)・グループの人数
- ② 代表者の氏名と連絡先(メールアドレス、電話番号)を添えてお申し込み下さい。

このイベントの詳しい最新情報は <http://www.documentary-ch.com/news.html>

監修・協力 お茶の水女子大学 理学部生物学科 准教授 服田昌之(はったまさゆき)

主催 (株)ドキュメンタリーチャンネル 後援 埼玉県

(株)ドキュメンタリーチャンネル TEL 048-263-4755 FAX 048-263-4756